

盛岡市みたけの五日市塗装工業（南慎一社長）は、2011年に女性塗装工を採用したのをきっかけに働き方の見直しを進め、休暇取得率の向上など会社全体の労働環境の改善につながっている。

工場の壁に丁寧にはけを走らせるのは、田沼美穂さん(30)。12年4月に入社した同社2人目の女性塗装工

力入れてます



# 創意工夫 ~わが社のしごと改革~

▶ 44 ◀

## 五日市塗装工業

(盛岡市)

だ。夏の日焼け、冬の寒さなど大変な面もあるが「外の仕事が好きだし、目に見えて達成感があるこの仕事が好き」と魅力を語る。

同社がまず取り組んだのは、事務所への女性用の更衣室とトイレの設置。さらにこれまで一線の塗装工が日給制、営業・総務が月給制だった給与体系を見直し、全ての部署を月給制に統一した。これにより、塗装工が安心して休日を取得できるようになった。塗装工が所属する工務部の有給休暇取得率は17年度の9%から、19年度は50%に急増した。

16年岩手県体に女子サッカーの県代表として出場したアスリートでもある田沼さん。現在は競技から退いているが「休日が分かっていると大会や遠征にも参加

## 女性採用、月給に統一



しやすい」と働き方改革の成果を実感する。17年には管理部を新設し、人員や資材、工事の進

行状況などを一元的に管理する体制を構築した。これまで一部の部署だけが把握できていた情報が全体で共有できるようになり、過剰な人員配置の抑制にもつながっている。塗装工と事務方

はけで塗装する田沼美穂さん。働き方改革が進み、公私を充実させている

のスペースも1カ所に集めて物理的にも「垣根」を取り払った。

同社の女性塗装工は現在、田沼さんを含め3人に増えた。高齢化や人手不足が課題となる建設業界。南社長(49)は「女子トイレの塗装に女性職人を指名されることもある。最初はびっくりされたが、仕事に男女の違いはない」と今後も働き方改革と女性の採用を積極的に進める考えだ。

(第2・第4水曜日掲載)

**五日市塗装工業** 1954年、盛岡市で五日市塗装店として創業。71年に現社名に改称した。一戸建て住宅やアパート、ビルなどの塗装工事やリフォーム工事も手掛ける。2017年いわて働き方改革アワードで個別プロジェクト賞を受賞した。資本金1千万円。従業員30人(男22人、女8人)。盛岡市みたけ3の18の10。019・641・4601。